人事総務・経営企画 DX推進ご担当者様必見!

しごとコンパスではじめる人的資本経営

社員 1 人 1 人が 本来の能力を発揮できる環境で、ウェルビーイングを実現



いま注目の「人的資本経営」 一その必要性と課題とは?

» P. 1

「人的資本経営」 実践のポイント

» P. 2

しごとコンパス 3 つの活用法

» P. 3



いま注目の「人的資本経営」 その必要性と課題とは?



人材価値を最大限に引き出すことで、 企業価値の継続的な 向上が可能になります。



少子高齢化やコロナ禍によるワークスタイルの多様化、個を尊重するダイバーシティや持続性を 重視するSDGsが加速する現代。人材を「資本」として捉えて、価値を最大限に引き出すことで、 中長期的な企業価値向上につなげる「人的資本経営」が注目されています。社員に投資して、社員が 働きやすい環境を作ることは、エンゲージメントやウェルビーイングも向上するなど、会社にとっての メリットも大きい取り組みです。実践にあたっては、下記「3つの視点」が求められています。

人的資本経営 実践の3つの視点

経営戦略と 人材戦略の連動

2 現状と 目標 (As is-To be) ギャップの把握

しごとコンパスでサポート可能 » 詳しくは5ページ

企業文化への 定着



持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会 報告書 人材版伊藤レポート~(METI/経済産業省)

機運は高まっているものの、多くの企業が実践の道半ば

重要性が認知されている「人的資本経営」ですが、経済産業省が発表した 「人的資本経営に関する調査 集計結果」によると、多くの企業において具体的な取り組み は進んでいない状況です。その背景にはさまざまな課題が挙げられます。

必要性や重要性を認識 しているものの、具体的な検討に 至っていない…

人的リソースや知見の 不足から実行に移せていない…



議論ができる素地が 十分に出来上がっていない…

現状と目標のギャップを把握する ためのデータ化が難しい…

経済産業省「人的資本経営に関する調査 集計結果」 2022年5月の経営者の課題と、お客様からの声をもとにパナソニック作成

「人的資本経営」=人材価値を引き出すには? 具体的な方法をご紹介します!

😽 next page ≫

社員が、最大限の価値を発揮するには、 働きやすい環境づくりが重要です。

たとえ同一の部署や業務であっても、全員が 同じパフォーマンスを発揮できているわけでは ありません。同じスキルを持った2人がいたとします。

- ▶ Aさんは、100%のパフォーマンスを発揮しているうえに、学びの時間をつくれている。
- ▶ Bさんは、残業も多く体調を崩し気味で、50% のパフォーマンスしか発揮できていない。

なぜ2人の働き方に違いがあるのでしょうか?

それぞれの時間の使い方を見える化できれば、現状の課題が明確になり、働きやすい環境づくりへのヒントを得られます。たとえばBさんはAさんに比べて社内業務が多く、本来業務(重点的に取り組むメインテーマ)の時間を確保できていないなどの原因が判明。社内業務を減らす対応策を検討できます。

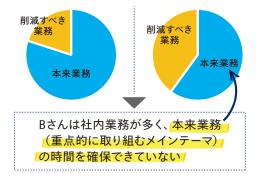




Bさん 業務が時間内 に終わらず、

残業が多い

現状の見える化により課題を発見し、 対応策を検討することが可能です



現状の把握が、働きやすい環境づくりの第一歩です!

しごとコンパスは、PCログから ムダな業務や、業務実態を見える化できます。

社員や組織が最大限のパフォーマンスを発揮して、同時にウェルビーイングを 叶えることをコンセプトに、人的資本経営に貢献します。

パフォーマンスの最大限の発揮と、ウェルビーイング実現をご支援します



業務実態を 見える化 目指す姿と のギャップ を把握 阻害要因 (ムダ)を 把握して 対策を検討

目指す 姿を達成 ATTENDED

TOTAL STATE OF THE PROPERTY OF THE P

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_s-compass

社員や組織のパフォーマンスを最大限に引き出す 「しごとコンパス」の活用法を3つご紹介します。

時間の使い方を見える化し、 本来業務に集中できる環境をつくる。

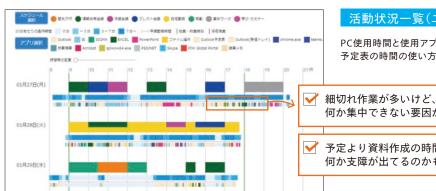
まず、1つ目は、時間のムダを見つけて圧縮。 本来業務に集中できる時間を増やすための活用法をご紹介します。



1人1人の時間の使い方の課題や 予定と実績の乖離を確認。

しごとコンパスでは、使用アプリの状況を10分単位で時間表のように表示可能。時間の使い方を 簡単にふり返ることができます。たとえば、色が細く表示されている時間帯は、作業が細切れに なっていて、集中できない要因があると推察できます。

また、Outlookのスケジュール表データを表示して、予定と実績の乖離を表示することも可能です。 予定時間よりも該当作業が長い場合は、何か課題が発生していると考えられます。



活動状況一覧(ユーザー)

PC使用時間と使用アプリ、 予定表の時間の使い方を確認できます。

何か集中できない要因があるのかも

✓ 予定より資料作成の時間が多い。 何か支障が出てるのかも





→ 1on1で、課題の共有と改善策を検討。

課題を発見した場合は、上長と本人でしごと コンパスのデータを見ながら、原因と解決策 について話し合いを実施。客観的データを もとにするので、お互いの認識合わせも スムーズです。ムダな時間を圧縮して 本来業務に集中することが可能になり、 働きやすい環境づくりにつながります。



本来業務への集中が達成感を生み出し、 ウェルビーイング実現につながります。

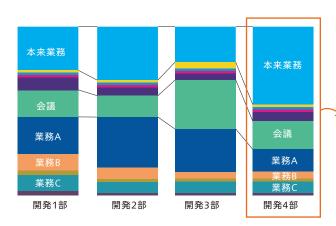
組織や役職別に業務を見える化。 特性もふまえた改善策を検討。

2つ目は、組織や役職単位での課題を発見して改善するための、 しごとコンパス活用法をご紹介します。



組織や役職別の業務実態を見える化。 本来業務を阻害する要因を俯瞰して把握。

しごとコンパスでは、収集したPC操作ログをBIツールに取り込むことで、個人はもちろん組織や 役職別に、働き方の状況把握や分析に役立つデータを一覧化したダッシュボードを作成できます。 たとえば開発4部は本来業務である企画・設計作業の時間割合が多いが、3部は企画・設計作業 時間が少なく社内会議が多いなど、現状を客観的なデータで把握することができます。



詳細分析・ダッシュボード化

しごとコンパスのログデータをBIツールに取り込むことで 組織の業務内容と作業時間を見える化



✓ 開発4部は本来業務の 時間割合が多いモデルケース。 ノウハウをヒアリングしよう!



目指したいモデルケースを 参考に改善策の検討を。

モデルケースにしたい組織と、課題が潜んで いそうなを組織を選定したら、客観的データを共有 **しながらノウハウをヒアリング**。「モデルケースに 合わせて会議の回数や時間を減らしてみよう」等、 得られたノウハウを社内に広げて定着させて いくことで、本来業務に集中し、働きやすい環境 を作ることができます。



業務パフォーマンスが向上! 互いに成長しあう組織づくりを推進できます。

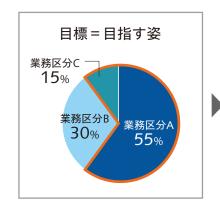
目標に対する実績のギャップを定量把握し、あるべき姿を実現。

3つ目は、1ページでも人的資本経営の実践ポイントとして挙げられている 「現状と目標 (As is-To be) ギャップの把握」 を通して業務を改善するしごとコンパス活用法です。

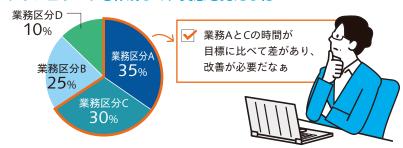


目標に対して、しごとコンパスで実績をとり、ギャップを定量データで見える化。

仕事は、提案活動や商品企画などの「業務区分」と、その業務を遂行するための資料作成や調査、 見積などの「作業」に分類できます。しごとコンパスでは、「作業」のログを収集して、提案や商品企画 などの「業務区分」にグルーピングすることで、「業務区分」毎の実績時間を収集することが可能です。 さらに、ビジネスアプリケーションを活用して、ダッシュボード化することで、目指す姿と比較して、 どこにギャップがあるかを見える化することができます。



しごとコンパスのログデータから ダッシュボードを作成して、実態を見える化



O2 STEP

ギャップを埋める対策を立て、 具体的な数値ベースのPDCAを実施。

目標と実績のギャップを把握できたら、客観的データをベースにして、より効果的な改善施策を検討できます。さらに、実態に即したPDCAサイクルを回すことで、改善のスピードも質も向上します。成長を実感できる環境で、業務へのモチベーションやエンゲージメントが向上し、ウェルビーイング実現につながります。



実績を「しごとコンパス」で

成長をサポートするサイクルで、 目指す姿を実現できます!

お客様のご要望に合わせた オプションサービスもご提供します。

「データを活用して働きやすい環境づくりを進めたいが、どのようなデータを収集・分析したらよいかわからない」というご相談や、貴社の課題に合わせた解析のサポート・代行にも対応します。

しごとコンパスで収集したPCログをもとに、業務の見える化を支援します。

■ コンサルティングサービス ■

見える化したデータをもとに課題の抽出から最適な業務プロセスの構築までサポートします。

オーダーメイド型

貴社の状況や経営計画にもとづいて、 データの見える化から業務改善プロセス まで、オーダーメイドな提案を行い、 コンサルタントが業務改善に伴走します。

簡易診断型

貴社の課題に合わせてデータを成型し、 簡易診断を行います。 結果をもとに、簡単な改善プランの ご提案を実施します。





https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_s-compass



ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

パナソニック システムお客様ご相談センター <mark>びる</mark> 携帯・PHS OK

0120-878-410

受付: 9時~17時30分 (土・日・祝日は受付のみ) 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

(お問い合わせの内容によっては、担当窓口をご案内する場合もございます)

ホームページからのお問い合わせは / https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact